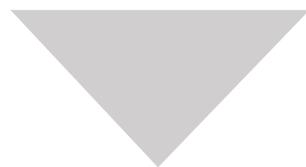


特定自主検査記録表が 新しくなりました。



ここが知りたい！改訂記録表のポイント解説

記録表、何が変わったの？



令和5年3月31日の検査指針改正に伴い、表題部や検査事項部の変更を施し、令和6年4月1日に手書き用記録表(全34機種)がリニューアルされました。

エンジン式フォークリフト

特定自主検査記録表

3年間保存

年 月 日 様式SR-LE-01-H

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用

年 月 日 様式SR-LE-01-I

エンジン式フォークリフト

特定自主検査記録表

3年間保存

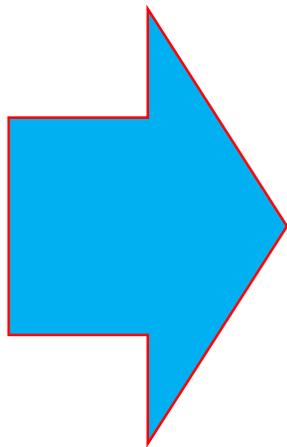
年 月 日 様式SR-LE-01-I

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用

メーカー名	管理No.	使用者住所 氏名又は名称
型式	走行距離 km	機械管理者氏名
製造番号	稼働時間	
性能 (最大荷重)	kg	検査業者登録番号
検査実施場所	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	
検査年月日	年 月 日	検査者 氏名

メーカー名	管理No.	使用者住所 氏名又は名称
型式	車検有効期間	機械管理者氏名
製造番号	走行距離 km	
性能 (最大荷重)	kg	検査業者登録番号
検査実施場所	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	
検査年月日	年 月 日	検査者 氏名

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容		
エンジン	1	本体	a *始動性	かかり具合、異音、予熱灯・ヒーターの作動	目視、操作、聴診			
			b *回転の状態	アクセルの作動、回転具合、アイドリング回転 (min ⁻¹)、無負荷最高回転 (min ⁻¹)	目視、操作、聴診、回転計			
			c *排気の状態	排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診			
			d *エアクリナー	ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、聴診			
			e *網付け	シリンダーヘッド、マニホールドの取付	トルクレンチ			
			f *弁すき間	弁すき間(取最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm)	シツクネスゲージ			
			g *圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計			
			h *噴射圧力	噴射圧力 (MPa)	ノズルテスター			
			i *噴霧状態	噴霧状態 良○ 不良×	目視、ノズルテスター			
			j *過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診			
			k *エンジンマウント	ブラケットのき裂、変形、損傷、劣化	目視、レンチ等			
			2	*潤滑装置	油量、汚れ、油質、オイルの汚れ・損傷	目視		
			3	*燃料装置	燃料漏れ、ホースの亀裂・変形、燃料フィルターの汚れ・目詰まり	目視		
			4	高圧ガス燃料装置	ガス漏れ、導管の亀裂・変形、損傷、ボルト・ナットの緩み・目詰まり	目視、検知器、レンチ等		
5	ブローバイガス還元装置	バルブの作動、ガス漏れ、目詰まり	目視、聴診					
6	*冷却装置	水量、汚れ、漏れ、ホースの亀裂・変形、ラジエーターキャップの機能	目視、聴診、スケール					
7	点火装置	キャップの亀裂・変形、プラグの取付、点火プラグの調整	目視、聴診、レンチ等、タイミングライト、シツクネスゲージ					
8	*電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線の緩み・損傷	目視、聴診、テスター					
9								
動力伝達装置	10	クラッチ	異音、切れ、接続、ペダルの遊び、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診、スケール				
	11	トランスミッション、トルコン	レバーの作動・抜け、異音、油量、汚れ、油漏れ、インテグレーションクラッチの切れ具合	目視、操作、聴診				
	12	プロペラシャフト	振れ、がた、損傷、取付	目視、聴診、レンチ等				
	13	デファレンシャル、ファイナルドライブ	異音、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、聴診、レンチ等				
走行装置	14							
	15	フロントアクスル	き裂、損傷、変形、取付	目視、レンチ等、探傷器				
	16	リアアクスル	き裂、損傷、変形、センターピンのがた、キャップ取付	目視、操作、レンチ等、探傷器				
	17	ホイール (タイヤ)	空気圧、き裂、損傷、摩耗、金属片等のかみ込み、ベアリングのがた・異音、ホイールディスクのき裂・損傷・変形、取付	目視、聴診、タイヤゲージ、デプスゲージ、レンチ等				
操縦装置	18							
	19	ハンドル	振れ、取られ、戻り具合、重さ、ハンドルの遊び・緩み・がた	目視、操作、聴診、スケール				
	20	ギヤボックス、ステアリングバルブ	油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、レンチ等				
	21	ロッド、アーム類	き裂、損傷、曲がり、がた、ブーツのき裂、取付	目視、聴診、レンチ等、探傷器				
	22	ナックル	ボアリング、キングピンのがた・異音・き裂・損傷	目視、聴診、聴診				
	23	かじ取り車輪	ストッパーボルト取付、車輪と他の部分との接触 旋回半径 (左 mm・右 mm)	目視、レンチ等、巻尺				
	24	パワーステアリング装置	油漏れ、ホース等の損傷・ひび割れ、老化、取付、車体との干渉	目視、聴診、レンチ等				
	25							



区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容		
エンジン	1	本体	a *始動性	警告灯の表示 (アイドリング・無負荷最高回転、弁すき間、圧縮圧力)	目視、操作			
			b *回転の状態	アクセルの作動、回転具合、アイドリング回転 (min ⁻¹)、無負荷最高回転 (min ⁻¹)	目視、操作、聴診			
			c *排気の状態	排気色、排気音	目視、操作、聴診			
			d *エアクリナー	ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、聴診			
			e *網付け	シリンダーヘッド、マニホールドの網付け	トルクレンチ			
			f *弁すき間	弁すき間(取最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm)	シツクネスゲージ、目視			
			g *圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計、目視			
			h *過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診			
			i *エンジンマウント	ブラケットのき裂、変形、損傷、劣化	目視、レンチ等			
			2	*潤滑装置	油量、汚れ、油質、オイルの汚れ・損傷	目視		
			3	*燃料装置	燃料漏れ、ホースの亀裂・変形、燃料フィルターの汚れ・目詰まり	目視		
			4	高圧ガス燃料装置	ガス漏れ、導管の亀裂・変形、損傷、ボルト・ナットの緩み・目詰まり	目視、検知器、レンチ等		
			5	ブローバイガス還元装置	バルブの作動、ガス漏れ、目詰まり	目視、聴診		
			6	*冷却装置	水量、汚れ、漏れ、ホースの亀裂・変形、ラジエーターキャップの機能	目視、聴診、スケール		
7	点火装置	キャップの亀裂・変形、プラグの取付、点火プラグの調整	目視、聴診、レンチ等、タイミングライト、シツクネスゲージ					
8	*電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線の緩み・損傷	目視、聴診、テスター					
9								
動力伝達装置	10	クラッチ、クラッチペダル	異音、切れ、接続、ペダルの遊び、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診				
	11	トランスミッション、トルコン(A/T)	レバーの作動・抜け、異音、油量、汚れ、油漏れ、インテグレーションクラッチの切れ具合	目視、操作、聴診				
	12	プロペラシャフト	振れ、がた、損傷、取付	目視、聴診、レンチ等				
	13	デファレンシャル、ファイナルドライブ	異音、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、聴診、レンチ等				
走行装置	14							
	15	フロントアクスル	亀裂、損傷、変形、取付	目視、レンチ等、探傷器				
	16	リアアクスル	亀裂、損傷、変形、センターピンのがた、キャップ取付	目視、操作、レンチ等、探傷器				
	17	ホイール (タイヤ)	空気圧、亀裂、損傷、偏摩耗、溝深さ、異物、ボルト・ナットの緩み・脱落、ホイールディスク等の亀裂・損傷・変形、ベアリングのがた・異音・異常発熱	タイヤゲージ、目視、デプスゲージ、レンチ等、聴診				
操縦装置	18							
	19	ハンドル	振れ、取られ、戻り具合、重さ、ハンドルの緩み・がた	目視、操作、聴診				
	20	ギヤボックス、ステアリングバルブ	油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、レンチ等				
	21	ロッド、アーム類	亀裂、損傷、曲がり、がた、ブーツの亀裂、取付	目視、聴診、レンチ等、探傷器				
	22	ナックル	ボアリング・キングピンのがた・異音・亀裂・損傷	目視、聴診、聴診				
	23	かじ取り車輪	ハンドル回転角度・かじ取り車輪角度の異常、ストッパーボルト取付、車輪と他の部分との接触	目視、操作、レンチ等				
	24	パワーステアリング装置	油漏れ、ホース等の損傷・ひび割れ・老化、取付、車体との干渉	目視、聴診、レンチ等				
	25							

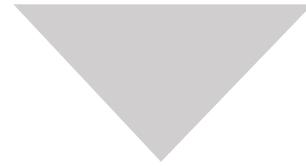
新

下記の34種類が該当

- 
- ① エンジン式フォークリフト(SR-LE-01/02)
 - ② バッテリー式フォークリフト(SR-LB-01/02)
 - ③ リーチ式フォークリフト(SR-LR-01/02)
 - ④ 不整地運搬車(SR-GR-01/02)
 - ⑤ 油圧式共通機体(SR-KB-01/02)
 - ⑥ 機械式共通機体(SR-KB-03/04)
 - ⑦ 下部走行体(トラック式)(SR-KL-01/02)
 - ⑧ ジブ・リーダー・ワイヤロープ(SR-KJ-01/02)
 - ⑨ ブルドーザー、トラクターショベル(クローラ式)(SR-GB-01/02)
 - ⑩ トラクター・ショベル(ホイール式)(SR-GL-01/02)
 - ⑪ モーター・グレーダー(SR-GG-01/02/03)
 - ⑫ 油圧ショベル(クローラ式)(SR-EHC-01/02)
 - ⑬ 油圧ショベル(ホイール式)(SR-EHW-01/02/03)
 - ⑭ クレーン機能付油圧ショベル(SR-ECC-01/02/03)
 - ⑮ クラムシェル(SR-ES-01)
 - ⑯ ディーゼルパイルハンマー(SR-FHD-01)
 - ⑰ 油圧パイルハンマー(SR-FHH-01)
 - ⑱ 硬質地盤油圧式くい圧入機(SR-FB-01/02)
 - ⑲ 振動パイルハンマー(SR-FV-01)
 - ⑳ アース・ドリル(SR-FD-01/02)
 - ㉑ 一体型せん孔機(SR-OB-01/02)
 - ㉒ 分離型せん孔機(SR-OB-03/04)
 - ㉓ アース・オーガー(SR-FA-01)
 - ㉔ 建柱車(SR-FP-01/02)
 - ㉕ ロードローラー及びタイヤローラー(SR-RR-01/02)
 - ㉖ 振動ローラー(SR-RV-01/02)
 - ㉗ コンクリートポンプ車(SR-CP-01/02)
 - ㉘ ブレーカ(SR-EB-01)
 - ㉙ 鉄骨切断機及びコンクリート圧碎機(SR-ETC-01)
 - ㉚ 解体用つかみ機(SR-ENG-01)
 - ㉛ 特定解体機械(SR-EL-01)
 - ㉜ 高所作業車(SR-HL-01/02/03)
 - ㉝ 高所作業車(トラック式)(SR-HT-01/02/03)
 - ㉞ ショベルローダー等定期自主検査(SR-SC-01/02)

記録表改訂の要点は？

表題部



- ① 表題部の共通化（表題部枠組み、各項目の記載位置など）
- ② 表題部の下に母機情報やアタッチメント情報、検査資格情報などの記入欄を設けました。

記録表改訂の具体例

機種別比較

① 表題部の共通化 (表題部枠組み、各項目の記載位置など)

3年間保存		エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表		証明書 発行日	令和6年1月7日	様式SR-LE-01-D	
		[建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用]		証明書 発行No.	6A678	標準 No.	1234567
メーカー名	タカハマ	管理No.	I-012	使用者住所 氏名又は名称	東京都港区〇〇町3-4-5 △△陸送株式会社 港支店		
型式	8FDN20	車検 有効期間	—	機械管理者氏名	遠藤 勇佐		
製造 番号	8FDN25-45678	走行 距離	34.567 km	検査業者登録番号	東第 〇〇号		
性能 (最大荷重)	1,500 kg	稼働 時間	12.748 h	検査者又は事業者 主所・名称 責任者名	東京都品川区001-1-1 〇〇荷役機械整備株式会社 飯田 次郎		
検査 実施場所	東京都品川区001-1-1			検査年月日	令和6年1月6日	検査者 氏名	太田 一郎
装着 アタッチメント 種類	全回転ローリングP	メーカー名	コスケード	型式	U61C32		
製造 番号				製造番号	245632		
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良/不良	補修 内容	

3年間保存		建柱車 特定自主検査記録表		証明書 発行日	令和6年1月19日	様式SR-FP-01-D	
		この記録表(様式SR-FP-01&02)は、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける(車検を受けて登録番号を取得した)建柱車に適用する。道路運送車両法の適用を受けない建柱車は、この記録表のほかに下部走行体(トランク)様式SR-KL-01&02の記録表により検査を行うこと。		証明書 発行No.	200	標準 No.	0224010
メーカー名	アグオ	管理No.	OXA8000E1865	使用者住所 氏名又は名称	埼玉県田間市565-1 領家電気工事株式会社		
型式	D700A	車検 有効期間	令和7年1月25日	機械管理者氏名	領家 次郎		
製造 番号	124100	走行 距離	50,360 km	検査業者登録番号	埼第1000号		
性能 (最大掘削トルク)	6,963 N・m	稼働 時間	2,422 h	検査者又は事業者 主所・名称 責任者名	埼玉県上尾市領家10002-26 玉機械車両整備株式会社 鈴木 三郎		
検査 実施場所	埼玉県上尾市領家10002-20			検査年月日	令和6年1月17日	検査者 氏名	佐藤 市郎
下部走行体 メーカー名	田野	型式	KL-FQ2PRHA	車台番号	FQ2PRH10061		
製造 番号				製造番号			
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良/不良	補修 内容	

* どの機種も同様に表題部の枠組みを揃えた例

記録表改訂の具体例

新旧比較

① 表題部の共通化(表題部枠組み、各項目の記載位置など)

建柱車		証明書発行日	様式
3年間保存		H30年5月29日	SR-FP-01-C
特定自主検査記録表		証明書発行No. 200	標準No. 0224010
この記録表(様式SR-FP-01&02)は、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける(車検を受けて登録番号を取得した)建柱車に適用する。道路運送車両法の適用を受けない建柱車は、この記録表のほか下部走行体(トラック)様式SR-KL-01&02の記録表により検査を行うこと。			
メーカー名	アゲオ	管理No.	OXΔ800#1865
型式	D700A	性能	6.963N・m
製造番号	124100	走行距離	50,360 km
検査実施場所	埼玉県上尾市 領家 10002-20	有効期間	H31年3月23日
検査年月日	H30年5月27日	検査者氏名	佐藤市郎
区分	No.	検査箇所	検査内容
			検査方法
			検査結果 補修内容

建柱車		証明書発行日	様式
3年間保存		令和6年1月19日	SR-FP-01-D
特定自主検査記録表		証明書発行No. 200	標準No. 0224010
この記録表(様式SR-FP-01&02)は、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける(車検を受けて登録番号を取得した)建柱車に適用する。道路運送車両法の適用を受けない建柱車は、この記録表のほか下部走行体(トラック)様式SR-KL-01&02の記録表により検査を行うこと。			
メーカー名	アゲオ	管理No.	OXΔ800#1865
型式	D700A	車検有効期間	令和7年1月25日
製造番号	124100	走行距離	50,360 km
性能(最大掘削トルク)	6.963 N・m	有効期間	2,422 h
実施場所	埼玉県上尾市領家 10002-20	検査者氏名	佐藤市郎
検査年月日	令和6年1月17日	検査者氏名	佐藤市郎
下部走行体メーカー名	田野	型式	KL-HQ2PRHA
区分	No.	検査箇所	検査内容
			検査方法
			検査結果 補修内容

* 性能記入欄の位置を揃えた例

記録表改訂の具体例

機種別比較

② 表題部の下に母機情報やアタッチメント情報、検査資格情報などの記入欄を設けました。

3年間保存		エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表		証明書 発行日	令和6年1月7日	様式SR-LE-01-I	
		建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用		証明書 発行No.	6A678	標章 No. 1234567	
メーカー名	カマハ	管理No.	I-012	使用者住所 氏名又は名称	東京都港区〇〇町3-4-5 △△陸送株式会社 港支店		
型式	8FDN20	車検 有効期間	—	機械管理者氏名	遠藤 勇佐		
製造 番号	8FDN25-45678	走行 距離	34,567 km	検査業者登録番号	東第 〇〇号		
性能 (最大荷重)	1,500 kg	稼働 時間	12.748 h	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	東京都品川区 〇〇荷役機械整備株式会社 飯田 次郎		
検査 実施場所	東京都品川区 〇〇1-1-1			検査年月日	令和6年1月6日	検査者 氏名	大田 一郎
装着アタッチメント 種類	全回転ローワー	メーカー名	コスカード	型式	U61C32	製造番号	245632
区分 No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	補修	内容	
				良	不良		

3年間保存		建柱車 特定自主検査記録表		証明書 発行日	令和6年1月19日	様式SR-FP-01-D	
		この記録表(様式SR-FP-01&02)は、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける(車検を受けて登録番号を取得した)建柱車に適用する。道路運送車両法の適用を受けない建柱車は、この記録表のほか下部走行体(トラック)様式SR-KL-01&02の記録表により検査を行うこと。		証明書 発行No.	200	標章 No. 0224010	
メーカー名	アテオ	管理No.	OXA800E1865	使用者住所 氏名又は名称	埼玉県田間市565-1 領家電気工事株式会社		
型式	D700A	車検 有効期間	令和7年1月25日	機械管理者氏名	領家 次郎		
製造 番号	124100	走行 距離	50,360 km	検査業者登録番号	埼第 1000号		
性能 (最大掘削トルク)	6,963 N・m	稼働 時間	2,422 h	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	埼玉県上尾市領家 10002-26 王機械車両整備株式会社 鈴木 二郎		
検査 実施場所	埼玉県上尾市領家 10002-20			検査年月日	令和6年1月17日	検査者 氏名	佐藤 市郎
下部走行体 メーカー名	田野	型式	KL-FQ2PRHA	車台番号	FQ2PRH10061		
区分 No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	補修	内容	
				良	不良		

* フォークリフトは装着アタッチメント、建柱車はトラックシャーシの情報を記載した例

記録表改訂の具体例

機種別比較

* フォークリフト(装着アタッチメント情報)

装着アタッチメント 種類	メーカー名	型式	製造番号
-----------------	-------	----	------

* 油圧ショベル・基礎工事機械用アタッチメント(装着母機情報)

(装着機械) メーカー名	型式	製造 番号	検 査 年月日	年	月	日
-----------------	----	----------	------------	---	---	---

* クレーン機能付き油圧ショベル(移動式クレーン安全教育情報)

移動式クレーン定期自主検査資格	(交付者)	(番 号)
-----------------	-------	-------

* 高所作業車トラック式・建柱車・コンクリートポンプ車(トラックシャーシ情報)

下部走行体 メーカー名	型式	車台番号
----------------	----	------

* 硬質地盤油圧式くい圧入機・分離型せん孔機(クレーン情報)

検 査 装 着 移動式クレーン	メーカー名	型式	製造 番号		
	稼働 時間 h	標章 No.	検査 年月日	年	月

記録表改訂の要点は？

検査事項部

- ③ 原動機の検査箇所・検査内容を新指針に適合させました。
- ④ バッテリー式フォークリフト制御装置の検査箇所を新指針に適合させました。
- ⑤ 各機械のシリンダー等、複数装備されている部分の検査箇所検査内容を細分化、検査結果を明確に記入可能としました。
- ⑥ アタッチメント記録表の検査事項部レイアウトを見直しました。

記録表改訂の具体例

新旧比較

③ 原動機の検査箇所・検査内容を新指針に適合させました。

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	
エンジン	1	本体	a *始動性	✓ かり具合、異音、予熱栓、✓ ヒーターの作動	✓ 目視、操作、聴診	✓	
			b *回転の状態	✓ アクセルの作動、✓ 回転具合、✓ アイドリング回転 (750 min ⁻¹) 無負荷最高回転 (2400 min ⁻¹)	✓ 目視、操作、聴診、✓ 回転計	✓	
			c *排気の状態	排気色、排気音、排気管、マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診	✓	○
			d *エアクリナー	ケースのき裂・変形・緩み、(エレメントの汚れ)・損傷、油量	目視、触診	✓	C
			e *締付け	シリンダーヘッド、マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓	
			f *弁すき間	弁すき間(吸最大、22mm・最小0.15mm) (排最大0.27mm・最小0.23mm)	シクネスゲージ	✓	
			g *圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa) 2.5 2.5 2.5 2.5 — —	圧縮圧力計	✓	
			h *噴射圧力	噴射圧力 (MPa) 12.5 12.5 12.5 12.5 — —	ズルテスター	✓	
			i *噴霧状態	噴霧状態 良○・不× 0 0 0 0 — —	目視、ズルテスター	✓	
			j *過給機	異常騒音、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	✓	
エンジン	2	*潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・損傷	目視	✓	X	
			燃料漏れ、ホース及びパイプの損傷・老化、*フィルターの汚れ・目詰まり	目視	✓	X	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	
エンジン	1	本体	エンジン警告灯 (電子制御式)	警告灯の表示 (アイドル回転・無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力)	目視、操作	✓	
			a *始動性	かり具合、異音、始動時予熱機能の作動 (ワイヤセル)	目視、操作、聴診	✓	
			b *回転の状態	アクセルの作動、回転具合 アイドル回転 (min ⁻¹)、無負荷最高回転 (min ⁻¹)	操作、回転計	—	—
			c *排気の状態	排気色、排気音 排気管、マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診	✓	○
			d *エアクリナー	ケースの亀裂・変形・緩み、(エレメントの汚れ)・損傷、油量	目視、触診	✓	C
			e *締付け	シリンダーヘッド、マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓	
			f *弁隙間	弁隙間(吸最大 mm・最小 mm) (排最大 mm・最小 mm)	シクネスゲージ、目視	—	—
			g *圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計、目視	—	—
			h *過給機	異常騒音、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	✓	
			i *エンジンマウント	ブラケットの亀裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、レンチ等	✓	
エンジン	2	*潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・損傷	目視	✓	X	
			燃料漏れ、ホースの損傷・老化、*フィルターの汚れ・目詰まり	目視	✓	X	

* 電子制御式エンジンの回転数・弁隙間・圧縮圧力について検査箇所を新設し、噴射圧力及び噴霧状態の検査箇所を削除しました。

記録表改訂の具体例

新旧比較

AC制御の例

④ バッテリー式フォークリフト制御装置の検査箇所を新指針に適合させました。

制 御 装 置	a	コントローラー 走行用、荷役用	モーターの回転状態 (低速・中速・高速・加速)、異音、異臭	目視、操作、聴診、嗅診	✓		
	b	コンタクター	接点の緩み・損傷・汚れ・作動・閉れ、取付	目視、聴診、レンチ等	✓		
	c	マイクロスイッチ	タイミング、損傷、取付	目視、レンチ等	✓		
	d	抵抗器 (レジスタ)	端子の緩み・焼損、取付	目視、聴診、レンチ等	—	—	—
	e	過電流制限装置	モーターの最大電流値 (走行用 A・荷役用 A) AC制御	電流計	✓		
	f	安全装置	コンタクターの作動 (アークを引き開く・開かない・閉じない) AC制御	目視、操作	✓		
	g	ヒューズ	容量、取付	目視、聴診、レンチ等	✓		
	h	配線	緩み、損傷、ランプ状態	目視、聴診、レンチ等	✓		△

電 動 機 ・ 制 御 装 置	a	コントローラー 走行用 荷役用	モーターの回転状態 (低速・中速・高速・加速)、異音、異臭	目視、操作、聴診、嗅診	✓		
	b	コンタクター	開放式コンタクタ接点の緩み・損傷・消耗・作動・閉れ、取付、機能	目視、聴診、操作、レンチ等	✓		
	c	マイクロスイッチ	タイミング、損傷、取付	目視、レンチ等	✓		
	d	抵抗器 (レジスタ)	端子の緩み・焼損、取付	目視、聴診、レンチ等	—	—	—
	e	過電流制限装置 (VR調整式)	モーターの最大電流値 (走行用 A・荷役用 A)	電流計	—	—	—
	f	安全装置 (SCR制御方式)	コンタクターの作動 (アークを引き開く・開かない・閉じない)	目視、操作	—	—	—

* 2e 過電流制限装置が「可変抵抗器を用いて過電流値を設定する制御方式」、2f 安全装置が「サイリスターチョッパ制御方式」のものに限定されました。

記録表改訂の具体例

新旧比較

⑤ 各機械のシリンダー等、複数装備されている部分の検査箇所・検査内容を細分化、検査結果を明確に記入可能としました。

圧	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	旋回用 走行用	冷却用	目視、聴診、触診、テスター			
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量（沈下量）、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	ブーム用 アーム用 バケット用	スイング用 オフセット用	目視、操作、スケール、タイマー			

油	27	油圧モーター	旋回用	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	目視、操作、聴診、触診			
			走行用	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	目視、操作、聴診、触診			
			冷却用	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	目視、操作、聴診、触診			
圧 装	28	油圧シリンダー	ブーム用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			
			アーム用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			
			バケット用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			
			ブレード用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			
			スイング用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			
			オフセット用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー			13

記録表改訂の具体例

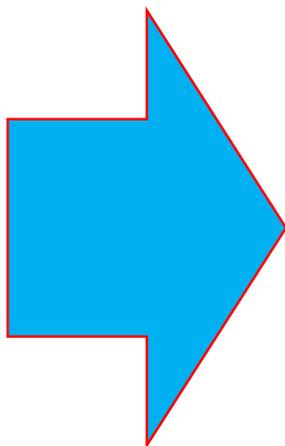
新旧比較

レイアウト変更

⑥ アタッチメント記録表の検査事項部を2列⇒1列に変更しました。

鉄骨切断機及びコンクリート圧碎機 (鉄骨切断機、コンクリート大割圧碎機、小割圧碎機) 特定自主検査記録表											
3年間保存			監督官庁 年 月 日		様式SR-ETC-01-C						
検査番号			検査日		検査No.						
① 鉄骨切断機等を検査する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-D10等を使用すること。 ② 鉄骨切断機（ベースマシン）の情報を入力すること。											
メーカー名	管理No.	(登録機械)メーカー名	使用者住所氏名又は名称								
型式		型式	機械管理者氏名								
製造番号		製造番号	検査業者登録No.								
性能	kg	年 月	検査業者又は事業者住所・名称責任者名								
検査実施場所			検査年月日								
区分No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	備考	区分No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	備考
1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視			8	関節シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打底亀裂、曲がり、腐食、接り傷	目視		
2	取付けピン、ブッシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視			9	制動弁	作動、油漏れ、短延バルブ	目視		
3	油圧ケタリング、戻り弁	引っ掛かり、異音、ホウキ亀裂・摩耗、シール損傷、取付	目視・操作・聴診			10	切断・圧碎アーム	亀裂、変形、摩耗	目視		
4	液圧制御器(液圧レリーフ)	作動(制動長命)、異音、取付	目視・操作・聴診			11	カッター	亀裂、欠け、摩耗、取付	目視		
5	油圧モーター	油漏れ、異常発熱、異音、異常発熱	目視・操作・聴診			12	圧縮ポイント	観察、おた、摩耗	目視		
6	回転継手	回転、油漏れ、異音	目視・操作・聴診			13	表示板	損傷、取付	目視		
7	配管(ホース、配管パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、おじり、油漏れ、取付	目視			14	操作レバー等	ストローク、おた	目視		
次回特定自主検査実施年月 年 月											
事業要請への等											
照会No. 補修箇所及び不具合状況 補修日 補修実施内容											
備考											

旧



鉄骨切断機及びコンクリート圧碎機 (鉄骨切断機、コンクリート大割圧碎機、小割圧碎機) 特定自主検査記録表											
3年間保存			監督官庁 年 月 日		様式SR-ETC-01-D						
検査番号			検査日		検査No.						
① 鉄骨切断機等を検査する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-D10等を使用すること。 ② 鉄骨切断機（ベースマシン）の情報を入力すること。											
メーカー名	管理No.	(登録機械)メーカー名	使用者住所氏名又は名称								
型式		型式	機械管理者氏名								
製造番号		製造番号	検査業者登録No.								
性能	kg	年 月	検査業者又は事業者住所・名称責任者名								
検査実施場所			検査年月日								
区分No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	備考	区分No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	備考
1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視			1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視		
2	取付けピン、ブッシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視			2	取付けピン、ブッシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視		
3	液圧ケタリング、戻り弁	引っ掛かり、異音、ホウキ亀裂・摩耗、シール損傷、取付	目視・操作・聴診			3	液圧ケタリング、戻り弁	引っ掛かり、異音、ホウキ亀裂・摩耗、シール損傷、取付	目視・操作・聴診		
4	液圧制御器(液圧レリーフ)	作動(制動長命)、異音、取付	目視・操作・聴診			4	液圧制御器(液圧レリーフ)	作動(制動長命)、異音、取付	目視・操作・聴診		
5	油圧モーター	油漏れ、異常発熱、異音、異常発熱	目視・操作・聴診			5	油圧モーター	油漏れ、異常発熱、異音、異常発熱	目視・操作・聴診		
6	回転継手	回転、油漏れ、異音	目視・操作・聴診			6	回転継手	回転、油漏れ、異音	目視・操作・聴診		
7	配管(ホース、配管パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、おじり、油漏れ、取付	目視			7	配管(ホース、配管パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、おじり、油漏れ、取付	目視		
8	関節シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打底、亀裂、曲がり、腐食、接り傷	目視・操作・聴診			8	関節シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打底、亀裂、曲がり、腐食、接り傷	目視・操作・聴診		
9	制動弁	作動、油漏れ、取付	目視			9	制動弁	作動、油漏れ、取付	目視		
10	切断アーム、圧碎アーム	亀裂、変形、摩耗	目視			10	切断アーム、圧碎アーム	亀裂、変形、摩耗	目視		
11	カッター	亀裂、欠け、摩耗、取付	目視			11	カッター	亀裂、欠け、摩耗、取付	目視		
12	圧縮ポイント	観察、おた、摩耗	目視			12	圧縮ポイント	観察、おた、摩耗	目視		
13	表示板	損傷、取付	目視			13	表示板	損傷、取付	目視		
14	操作レバー等	ストローク、おた	目視			14	操作レバー等	ストローク、おた	目視		
15	飛来物防護装置	亀裂、変形、腐食、取付	目視			15	飛来物防護装置	亀裂、変形、腐食、取付	目視		
16	総合テスト	観察、異常発熱、異音、異常発熱	目視			16	総合テスト	観察、異常発熱、異音、異常発熱	目視		
17						17					
次回特定自主検査実施年月 年 月											
事業要請への等											
照会No. 補修箇所及び不具合状況 補修日 補修実施内容											
備考											

新

記録表改訂の具体例

ブレーカ・解体用つかみ機・鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機が対象になります。

ブレーカ
(油圧ブレーカユニット、空圧ブレーカユニット)
特定自主検査記録表

証明書発行日 年 月 日 様式SR-EB-01-G
証明書発行No. 検査No.

3年間保存

① 装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 検査記録（ベースマシン）に装着して検査を実施し、その情報を記入すること。

メーカー名	管理No.	使用者住所氏名又は名称
型式		
製造番号		機械管理者氏名
性能	kg	検査業者登録番号
検査実施場所		検査業者又は事業者住所・名称
検査年月日	年 月 日	検査者氏名
(装着機械)メーカー名	型式	製造番号
検査年月日	年 月 日	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 異常 不異常	備考 不良 不不良
ブレーカ本体	1	ブレーカ上部	封入ガス圧力・ガス漏れ(油圧式)、接続部破損(空圧式)、取付油漏れ、ピン穴の亀裂、ブタケットはめ合い部の摩耗、取付	目視、レンチ等、圧力計		
	2	シリンダー	油漏れ、ピン穴の亀裂、ブタケットはめ合い部の摩耗、取付	目視、レンチ等		
	3	ブレーカ下部	亀裂、損傷、摩耗、取付、チゼルしゅう動部ブタケット、油漏れ、給油	目視、レンチ等、スケール		
	4	アクチュエーター（油圧式）	打撃の異常（ホース破れ、むら打ち、異音）、油漏れ	目視、操作、聴診		
	5	チゼル保持ピン	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール		
	6	チゼル保持ピン用抜止めピン	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール		
	7	チゼル	亀裂、変形、摩耗	目視		
ブタケット等	8	ブタケット	亀裂、変形、摩耗	目視		
	9	取付けピン、ブシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視、レンチ等		
	10	緩衝材	亀裂、摩耗、劣化、取付	目視、レンチ等		
	11	フィルターエレメント、ケース	*汚れ・目詰まり・損傷、油汚れ、取付	目視		
油圧装置	12	配管（ホース類、高圧パイプ）	亀裂・損傷・老化・ひび割れ・おじれ、油漏れ、取付	目視、レンチ等		
	13	リリーフバルブ	作動、油漏れ、取付	目視、操作、レンチ等		
	14	アクチュエーター	打撃の異常（ホース破れ、むら打ち、異音）、*ガス封入圧	目視、聴診、圧力計		
	15	エアホース	損傷・ひび割れ・劣化、継手部の緩み・エア漏れ、クランプの適否	目視、聴診		
	16	操作弁ライノイター	作動、油量、汚れ	目視、操作		
	17	表示板	損傷、取付	目視、レンチ等		
	18	操作レバー等	ストローク、おた	目視、操作		
	19	飛来物防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視、探傷器、レンチ等		
	20	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
	21					

事業者への等
次回特定自主検査実施年月 年 月

補修等の措置内容		
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日

備考
1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なもの不良の欄に「○」印の記号を記載する。
2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
3. 検査内容の項目に*印が付けた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。
4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。

◎ 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

解体用つかみ機
(解体用つかみ具 内部シリンダー作動型、外部シリンダー作動型)
特定自主検査記録表

証明書発行日 年 月 日 様式SR-ENG-01-D
証明書発行No. 検査No.

3年間保存

① 解体用つかみ具を装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 装着記録（ベースマシン）の情報を記入すること。

メーカー名	管理No.	使用者住所氏名又は名称
型式		
製造番号		機械管理者氏名
性能	kg	検査業者登録番号
検査実施場所		検査業者又は事業者住所・名称
検査年月日	年 月 日	検査者氏名
(装着機械)メーカー名	型式	製造番号
検査年月日	年 月 日	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 異常 不異常	備考 不良 不不良
上ゴ 下等	1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視、探傷器、レンチ等		
	2	取付けピン、ブシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視、レンチ等		
旋回装置	3	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛けり、異音、*ギヤ亀裂・摩耗、シール損傷、取付	目視、操作、聴診、トルクレンチ		
	4	油圧モーター	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診、操作		
油圧装置	5	回転継手	回転状態、油漏れ	目視、操作		
	6	配管（ホース類、高圧パイプ）	亀裂・損傷・老化・ひび割れ・おじれ、油漏れ、取付	目視、触診、レンチ等		
	7	閉閉シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打放、亀裂、曲がり、撓り傷	目視、操作、スケール、タイマー		
	8	制動弁	作動、油漏れ、取付	目視、操作、レンチ等		
つかみ部	9	つかみアーム	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール、探傷器		
	10	つかみリンク	亀裂、変形、摩耗、取付	目視、レンチ等、スケール、探傷器		
	11	取付けピン、ブシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視、レンチ等		
表示	12	つかみポイント	脱落、おた、摩耗	目視、スケール		
	13	表示板	損傷、取付	目視		
操作	14	操作レバー等	ストローク、おた	目視、操作		
	15	飛来物防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視、探傷器、レンチ等		
安全車体	16	総合テスト	機能、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
	17					

事業者への等
次回特定自主検査実施年月 年 月

補修等の措置内容		
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日

備考
1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なもの不良の欄に「○」印の記号を記載する。
2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
3. 検査内容の項目に*印が付けた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。
4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。

◎ 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機
(鉄骨切断具、コンクリート大割圧砕具、小割圧砕具)
特定自主検査記録表

証明書発行日 年 月 日 様式SR-ETC-01-D
証明書発行No. 検査No.

3年間保存

① 鉄骨切断具等を装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 装着記録（ベースマシン）の情報を記入すること。

メーカー名	管理No.	使用者住所氏名又は名称
型式		
製造番号		機械管理者氏名
性能	kg	検査業者登録番号
検査実施場所		検査業者又は事業者住所・名称
検査年月日	年 月 日	検査者氏名
(装着機械)メーカー名	型式	製造番号
検査年月日	年 月 日	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 異常 不異常	備考 不良 不不良
上ゴ 下等	1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視、探傷器、レンチ等		
	2	取付けピン、ブシュ	亀裂、変形、摩耗、ピンシール損傷、取付	目視、レンチ等		
旋回装置	3	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛けり、異音、*ギヤ亀裂・摩耗、シール損傷、取付	目視、操作、聴診、トルクレンチ		
	4	旋回ブレーキ	作動（制動具付）、異音、取付	目視、操作、聴診、レンチ等		
油圧装置	5	油圧モーター	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診、操作		
	6	回転継手	回転状態、油漏れ	目視、操作		
	7	配管（ホース類、高圧パイプ）	亀裂・損傷・老化・ひび割れ・おじれ、油漏れ、取付	目視、触診、レンチ等		
	8	閉閉シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打放、亀裂、曲がり、腐食、撓り傷	目視、操作、スケール、タイマー		
つかみ部	9	制動弁	増圧バルブ 増速バルブ	作動、油漏れ、取付	目視、操作、レンチ等	
	10	切歯アーム、圧砕アーム	亀裂、変形、摩耗	目視、スケール、探傷器		
圧砕切歯部	11	カッター	亀裂・欠け・摩耗、取付	目視、レンチ等、スケール、探傷器		
	12	圧砕ポイント	脱落、おた、摩耗	目視、スケール		
表示	13	表示板	損傷、取付	目視		
	14	操作レバー等	ストローク、おた	目視、操作		
安全車体	15	飛来物防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視、探傷器、レンチ等		
	16	総合テスト	機能、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
17						

事業者への等
次回特定自主検査実施年月 年 月

補修等の措置内容		
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日

備考
1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なもの不良の欄に「○」印の記号を記載する。
2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
3. 検査内容の項目に*印が付けた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。
4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。

◎ 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

記録表改訂の要点は？

検査事項部

⑦ 各部記載の文言を新指針に合わせて変更しました。

き裂



亀裂

すき間



隙間

はく離



剥離

打こん



打痕

たわみ(ベルト類の)



緩み

等が該当します。

記録表改訂の要点は？

記録表の構成

⑧ これまでの変更により使用記録表の枚数が増えた機種もあります。

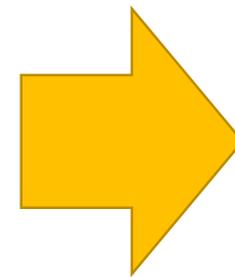
モータ・グレーダー

クレーン機能付き油圧ショベル

高所作業車

高所作業車トラック式

2枚
構成



3枚
構成

が該当します。

高所作業車(トラック式)
特定自主検査記録表

証明書発行日 年 月 日 様式SR-HT-01-A

証明書発行No. 検査No.

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき検査共用

3年間保存

メーカー名	管理No.	使用者住所氏名又は名称
型式	走行距離 km	機械管理者氏名
製造番号	稼働時間 h	検査者登録番号
性能(作業床高さ) m	車検有効期間 年 月 日	検査者又は事業者住所・名称 責任者名
検査実施場所	検査年月日 年 月 日	検査者氏名

作業用動力装置 (エンジン・電動機)

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	
作業用動力(エンジン)	1	本体	a★始動性	かかり具合、異音、予熱性	目視、操作、聴診		
			b★回転の状態	アクセルの作動、回転具合、アイドリング回転速度 (min ⁻¹) 無負荷最高回転速度 (min ⁻¹)	目視、操作、聴診、回転計		
			c★排気の状態	排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診		
			d★エアフィルター	ケースのき裂・変形・緩み、エレメントの汚れ、損傷、油量	目視、触診		
			e★網付	シリンダーヘッド・マニホールドの取付	トルクレンチ		
			f★弁隙間	(吸最大 mm-最小 mm)(排最大 mm-最小 mm)	シックスゲージ		
			g★圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計		
			h★噴射圧力	噴射圧力 (MPa)	ノズルテスター		
			i★噴霧状態	噴霧状態 良○不良×	目視、ノズルテスター		
			j★油給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診		
			k★エンジンマウント	ブラケットの亀裂・変形、防振ゴムの損傷・劣化、取付	目視、レンチ等		
			2	★潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、★エレメントの汚れ・損傷	目視	
	3	★燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老化、★エレメントの汚れ・目詰まり	目視			
	4	★冷却装置	水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等のき裂・損傷・変形・取付	目視、スケール			
	5	★電気装置	充電装置機能、バッテリー液量、端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、テスター			
6	ブローバイガス還元装置	バルブの作動、配管の詰まり・損傷	目視、聴診				
8	電動機本体	振動、異音、ブラシ摩耗・当たり、コンミューター汚れ・摩耗、取付	目視、聴診、スケール				
9	コンタクター	作動、損傷、摩耗	目視、操作				
10	保護装置	ブレーカー等作動	目視、操作				
11	制御盤	損傷、ヒューズ容量、取付	目視				
12	バッテリー	液量、比重、端子の緩み・損傷・腐食、液漏れ	目視、操作、比重計				
13	充電装置	機能、異音、異常発熱、ブレーカー作動	目視、操作、聴診、触診				
14	配線	損傷、取付	目視				
15							

高所作業車(トラック式) 作業装置等

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容		
作業装置	16	ブーム(ラダー)	曲がり(全体、個別)、わじれ、ラップ部へこみ、側面版のうねり、打こん・局部へこみ、パッド部のがた・摩耗、溶接部き裂・損傷	目視、操作、スケール、探傷器				
			絶縁ブーム・絶縁カバー	き裂・損傷、汚れ、取付	目視			
			ヒンジピン	連結部がた、取付	目視			
			伸縮又は屈折機構	チェーン・スプロケットの損傷・摩耗・たるみ、取付ピン損傷・抜け止め異常、リンク・ピンのき裂・損傷・取付、連結部がた、ワイヤロープ直径減少、索線切れ	目視、スケール			
			送油装置(ケーブルベア)	シープの取付、損傷・摩耗・変形、作動、損傷、油漏れ、電線ケーブルの損傷	目視、操作			
			リフトアーム、マスト	異音・引っ掛かり、がた、き裂・わじれ・かじり、取付、ヒンジピン損傷・取付、連結部がた	目視、操作			
			リフトチェーン、ワイヤロープ	損傷・摩耗、取付ピン損傷・抜け止め異常、たるみ	目視			
			平衡装置	作動、ロープ・チェーンのき裂・損傷・たるみ、摩耗、シープ等のき裂・摩耗、チェーンパツクル・取付ピン損傷・抜け止め異常	目視、操作			
			ブラットフォーム、手すり	き裂・変形・腐食、開閉・ロック作動	目視、操作			
			バケット、バスケツト	き裂・変形、クレーン・取付	目視			
			作業用脚板	損傷、取付	目視			
			27	首振り装置	作動、ロック作動、異音、減速機等の損傷・油量・汚れ、油漏れ、ベアス・リンク等のき裂・変形・摩耗、ボルトの緩み、シールの損傷、取付	目視、操作、聴診		
			28	旋回装置				
			29	昇降・スライド装置	作動・異音、ベアス・リンク等・ロックピン・チェーンのき裂・変形、スライド部のがた、取付	目視、操作、聴診		
			30					

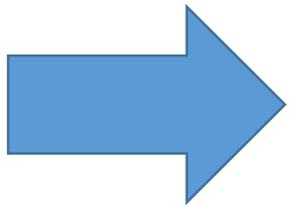
証明書発行日 年 月 日 様式SR-HT-02-A

証明書発行No. 検査No.

3年間保存

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容					
作業装置	31	つり上げ装置	異音・異常振動・異常発熱、ブレーキ作動、油量・汚れ、油漏れ、き裂・損傷・変形・ピン損傷、取付、ワイヤロープ直径減少・索線切れ、索線切れ(仕線、長さ、索線切れ・毛羽立ち・摩耗、破断・乾燥、シンプルき裂・変形・摩耗、端処理損傷・ほつれ、取付)、フック変形・摩耗、外れ止め損傷、サブブームき裂・損傷・変形	目視、操作、聴診、触診							
			32	油圧取出口	カップリング損傷、油漏れ、キャップ取付	目視					
			33								
			34	作動油タンク	油漏れ、エア漏れ、油量、★汚れ、ブリーザー目詰まり、取付	目視、せつけん水					
			35	フィルター	★汚れ・損傷、油漏れ	目視					
			36	配管ホース	き裂・損傷・老化・わじれ、油漏れ、取付	目視、触診					
			37	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱、★吐出量・吐出圧力	目視、聴診、触診					
			38	油圧モーター	油漏れ、異常振動・異音・異常発熱	テスター					
			39	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打こん・き裂・曲がり・擦り傷	目視、操作、スケール					
			40	合機弁	作動、油漏れ、方向制御弁取付、電磁弁異音・異常発熱	目視、操作					
			41	オイルクーラー	油温、目詰まり、パイプ変形・破損、油漏れ、ベルトたわみ・損傷、摩耗、モーターの異音・異常振動・異常発熱	目視、聴診、触診、スケール					
			42	アキュムレーター	作動、配管等の振れ・異音、★ガス封入圧	目視、聴診、触診、圧力計					
			43	回転継手	回転状態、油漏れ	目視					
			44								
			操作装置等	45	操作レバー、スイッチボタン	作動・ストローク・がた、保護ブーツ損傷、銘板の汚れ・欠損	目視、操作				
46	リモートコントロール装置	作動・ストローク・がた、保護ブーツ損傷、銘板の汚れ・欠損				目視、操作					
47	作業範囲規制装置	伸縮・起伏・旋回装置の作動、損傷、取付				目視、操作					
48	過積載防止装置	自動停止装置・警報装置等の作動、損傷、取付				目視、操作					
49	車体傾斜角警報装置	作動、損傷、取付				目視、操作					
50	アウトリガーインテラロック	作動、損傷、取付				目視、操作					
51	緊急停止装置	作動				目視、操作					
52	非常用ポンプ装置	作動、取付				目視、操作					
53	角度計	作動、損傷・目盛の汚れ、取付				目視、操作					
54	アースリール	取付、損傷、抵抗				目視、テスター					
55	その他規制装置等	作動、損傷、取付				目視、操作					
56											
リアウルト	57	ビーム・ビームボックス、フロントロック、ロックピン				引っ掛かり、き裂・変形	目視、操作、探傷器				
						58	ジャッキ	作動・き裂・変形・摩耗	目視、操作		
						59	ターンテーブル	き裂・変形、ボルト取付	目視、探傷器		
			60	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり・異音、ギヤき裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、触診					
			61	旋回減速機	異音・異常発熱、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診					
			62	旋回ロック	ロック作動、き裂・損傷	目視、操作					
			63	カウンタウエイト	き裂、取付	目視					
			64	サブフレーム	き裂・変形、取付	目視、探傷器					
			65	ブーム受台	き裂・変形、ゴム損傷・脱落、取付	目視					
			66								
			下部走行体(トラック式)	67	動力取出し装置(PTO)	作動・異音、油量・汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診、触診				
						68	キャブ	亀裂・変形・腐食、雨漏り、ドア等の開閉、ロック・キー作動、ガラスのがた・破損	目視、操作、探傷器		
						69	座席(座席調整シフト、シートM)	作動、損傷、取付	目視、操作		
						70	昇降設備、滑り止め	亀裂・損傷、変形、取付	目視		
						71	表示板	損傷、取付	目視		
72	烽火装置、警音器、方向指示器、窓拭き器、デフロスター	作動、取付、レンズ破損・水浸入				目視、操作					
73	計器類	作動				目視					
74	後写鏡、反射鏡	汚れ、損傷、写影、取付				目視					
全体	75	電気配線				断線、損傷、取付	目視				
						76	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作		
						77	統合テスト	作動、異音、異常振動、異常発熱	目視、操作、聴診、触診		
						別紙	様式SR-ZC-03等に事業者への要請等及び補修措置を記載	次回特定自主検査実施年月 年 月			
						備考	1	下部走行体(トラック)は、様式SR-KL-01、02を使用すること。	検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「√」印の記号を記載する。		
									検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。		
									検査内容の項目に★印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は★印を○で囲む。		
			検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。								
			網掛け項目は、定期自主検査指針の公表後において新たに整備されたものであり、追加検査項目とした。								
			道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける高所作業車であって、同法第48条第1項に基づき定期点検基準に定める点検と同等以上の点検を作業装置以外の部分について実施し、その点検を行ったことが記録によって確認されるものについては、当該部分に係わる自主検査を省略して差し支えないものであること。								
			★印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき決められている。								

高所作業車 トラック式の 2枚構成が



検査箇所や 検査内容を 見直したので

高所作業車(トラック式)

特定自主検査記録表

証明書発行日 年 月 日 様式SR-HT-01-B

3年間保存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書発行No. 検査No.

Form with fields for Manufacturer Name, Model, Serial No., Management No., User Name, etc.

Form with fields for Inspection Date, Inspector Name, Vehicle Model, and Vehicle No.

Table with 5 columns: 区分, No., 検査箇所, 検査内容, 検査方法. Contains inspection items for engine, lights, and brakes.

Table with 5 columns: 区分, No., 検査箇所, 検査内容, 検査方法. Contains inspection items for tires, suspension, and safety equipment.

証明書発行日 年 月 日 様式SR-HT-02-B

証明書発行No. 検査No.

3年間保存

Table with 5 columns: 区分, No., 検査箇所, 検査内容, 検査方法. Contains inspection items for various mechanical parts like gears, belts, and suspension.

証明書発行日 年 月 日 様式SR-HT-03-B

証明書発行No. 検査No.

3年間保存

Table with 5 columns: 区分, No., 検査箇所, 検査内容, 検査方法. Contains inspection items for tires, suspension, and safety equipment.

下部走行体(トラック式)

Table with 5 columns: 区分, No., 検査箇所, 検査内容, 検査方法. Contains inspection items for chassis, suspension, and steering.

事業者への要請等

Table with 2 columns: 次回特定自主検査実施年月, 補修等. Contains fields for next inspection date and repair details.

Table with 4 columns: 照合No., 補修箇所及び不具合状況, 補修年月日, 補修実施内容. Contains a checklist for repairs and non-compliance.

特定自主検査記録の記入要領

原動機部分



- 1.キャブレター式ガソリンエンジン (異常なし)
- 2.電子制御式ガソリンエンジン (異常なし)
- 3.電子制御式ディーゼルエンジン (異常あり)
- 4.バッテリー式フォークリフト (走行・荷役ACモーター仕様)

の場合を例として次に記載しました。

1. 非電子制御式エンジンで異常がない場合の記入例

キャブレター式ガソリンエンジン

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容
					良	不良	
エンジン	1	エンジン警告灯 (電子制御式)	警告灯の表示 (アイドル回転・無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力)	目視、操作	—	—	—
	本体 ※ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。 ※弁隙間の異常による異音がなく、回転の状態、排気色、排気音に異常がない場合は、この検査を省略してもよい。	a ★始動性	✓かかり具合、✓異音、始動時予熱機能の作動 (ディーゼルの)	✓目視、✓操作、✓聴診	✓		
		b ★回転の状態	✓アクセルの作動、✓回転具合	✓目視、✓操作、✓聴診	✓		
			✓アイドル回転 (810 min ⁻¹)、✓無負荷最高回転 (2,810 min ⁻¹)	✓操作、✓回転計	✓		
		c ★排気の状態	✓排気色、✓排気音	✓目視、✓操作、✓聴診	✓		
			✓排気管・✓フラー等のガス漏れ	✓目視、✓操作、✓聴診	✓		
		d ★エアクリナー	✓ケースの亀裂・✓変形・✓緩み、✓エレメントの汚れ・✓損傷、✓油量	✓目視、✓触診	✓		
		e ★締付け	シリンダーヘッド、マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓		
		f ★弁隙間	弁隙間 (吸最大 mm・最小 mm) (排最大 mm・最小 mm)	シクネスゲージ、目視	✓		
		g ★圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa) <input type="text"/>	圧縮圧力計、目視	✓		
h ★過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	—	—	—		
i ★エンジンマウント	✓ブラケットの亀裂・✓変形・✓緩み・✓脱落、✓防振ゴムの損傷・✓劣化	目視、レンチ等	✓				
2	★潤滑装置	油量・汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・損傷	目視		✓	×	
3	★燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・劣化、*フィルターの汚れ・目詰まり	目視	✓			

キャブレター式ガソリンエンジン場合、No.1「エンジン警告灯」は電子制御式エンジンの検査箇所となるので、検査結果及び補修内容の欄に「—、—、—」と記入する。「b★アイドル回転及び無負荷最高回転」は測定値を記入し、正常なので検査結果の良に「レ」を記入する。「e★締付け、f★弁隙間、g★圧縮圧力」は検査省略の「*」を「○」で囲み、検査結果の良に「レ」を記入する。この場合「h 過給器」は装備されていないので対象外「—、—、—」を記入する。

2. 電子制御式エンジンで異常がない場合の記入例

電子制御式ガソリンエンジン

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容						
					良	不良							
エンジン	1	エンジン警告灯 (電子制御式)	警告灯の表示 (アイドリング・無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力)	目視、操作	✓								
		本体 *ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。 *弁隙間の異常による異音がなく、回転の状態、排気色、排気音に異常がない場合は、この検査を省略してもよい。	a★始動性	かかり具合、異音、始動時予熱機能の作動 (ディーゼル)	目視、操作、聴診	✓							
			b★回転の状態	アクセルの作動、回転具合	目視、操作、聴診	✓							
				アイドリング回転 (min ⁻¹)、無負荷最高回転 (min ⁻¹)	操作、回転計	—	—	—					
			c★排気の状態	排気色、排気音	目視、操作、聴診	✓							
				排気管・マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診	✓							
			d★エアクリナー	ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、触診	✓							
			e★締付け	シリンダーヘッド、マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓							
			f★弁隙間	弁隙間 (吸最大 mm・最小 mm) (排最大 mm・最小 mm)	シクネスゲージ、目視	—	—	—					
			g★圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							圧縮圧力計、目視	—	—
	h★過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	—	—	—							
	i★エンジンマウント	ブラケットの亀裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、レンチ等	✓									

電子制御式エンジンなのでNo.1「エンジン警告灯」の「検査内容」「検査方法」及び「検査結果」の良に「レ」を記入する。「b★アイドリング及び無負荷最高回転、f★弁隙間、g★圧縮圧力」については、検査結果及び補修内容の欄に「—、—、—」、「e★締付け」は検査省略の「*」を「○」で囲み、検査結果の良に「レ」を記入する。この場合「h 過給器」は装備されていないので対象外「—、—、—」を記入する。

3. 電子制御式エンジンで異常がある場合の記入例

電子制御式ディーゼルエンジン

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	
					良	不良		
エンジン	1	エンジン警告灯 (電子制御式)	警告灯の表示、アイドリング・無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力	目視、操作		✓		
		本体 *ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。 *弁隙間の異常による異音がなく、回転の状態、排気色、排気音に異常がない場合は、この検査を省略してもよい。	a★始動性	✓かかり具合、✓異音、✓始動時予熱機能の作動 (ディーゼル)	目視、操作、聴診	✓		
			b★回転の状態	✓アクセルの作動、✓回転具合	目視、操作、聴診	✓		
				アイドリング回転 (min ⁻¹)、無負荷最高回転 (min ⁻¹)	操作、回転計	—	—	—
			c★排気の状態	排気色、排気音	目視、操作、聴診		✓	
				排気管・フラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診	✓		
			d★エアクリナー	ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、触診	✓		
			e★締付け	シリンダーヘッド、マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓		
			f★弁隙間	弁隙間 (吸最大 mm・最小 mm) (排最大 mm・最小 mm)	シクネスゲージ、目視	—	—	—
			g★圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計、目視	—	—	—
	h★過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	✓				
	i★エンジンマウント	ブラケットの亀裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、レンチ等	✓				

電子制御式エンジンは No.1「エンジン警告灯」が点灯の場合、不良箇所が不明なので検査内容の全ての項目「警告灯の表示、(アイドリング・無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力)」を「○」で囲み、検査結果の不良に「レ」を記入する。

補修欄は補修の有無により記入が異なるので、補修が伴わない場合は、「事業者への要請等」の欄に、「No.1 エンジン警告灯が点灯しています。電子制御式エンジンの不具合ですのでメーカー系サービスショップで専門の点検を受けて下さい。」等を記入する。

4. ①バッテリー式フォークリフト電動機・制御装置等の記入例 走行・荷役がACモーター仕様

区分	No.	検査箇所		検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	
						良	不良		
電動機・制御装置	1	電動機	ACモーター 走行用・荷役用	✓取付	✓目視、✓触診、✓レンチ等	✓			
			DCモーター 走行用・荷役用	ブラシの摩耗・当たり、ばね力、コンミテーターの汚れ・摩耗 内部渡り線・ピグテールの緩み、取付	目視、触診、ノギス、 ばね秤、レンチ等	—	—	—	
	2	制御装置	a コントローラー	走行用	✓モーターの回転状態 (低速・中速・高速・加速)、✓異音、✓異臭	✓目視、✓操作、✓聴診、✓嗅診	✓		
				荷役用	✓モーターの回転状態 (低速・中速・高速・加速)、✓異音、✓異臭	✓目視、✓操作、✓聴診、✓嗅診	✓		
		b	開放式コンタクタ接点の緩み・損傷・摩耗・作動・汚れ、取付、機能	✓目視、✓触診、✓操作、✓レンチ等	✓				
		c	マイクروسイッチ	✓タイミング、✓損傷、✓取付	✓目視、✓レンチ等	✓			
		d	抵抗器 (レジスタ)	端子の緩み・焼損、取付	目視、触診、レンチ等	—	—	—	
		e	過電流制限装置 (VR調整式)	モーターの最大電流値 (走行用 A・荷役用 A)	電流計	—	—	—	
	f	安全装置 (SCR制御方式)	コンタクターの作動 (アークを引き開く・開かない・閉じない)	目視、操作	—	—	—		
	3								
4	ヒューズ	✓容量、✓取付	✓目視、✓触診、✓レンチ等	✓					
5	配線	✓緩み、(✓損傷) ✓ランプ状態	(✓目視) ✓触診、✓レンチ等		✓	△			

走行・荷役がACモーター仕様なので「検査箇所」No.1は「ACモーター」を選び、No.2 a、b、cと共に「検査内容」「検査方法」「検査結果」に「レ」を記入する。この場合「d 抵抗器」は装備されていないので「検査結果」に対象外「—、—、—」を記入する。

一方、「e 過電流制限装置 (VR調整式)」「f 安全装置 (SCR制御方式)」は、新指針により装備されていないと解釈されたので「検査結果」に対象外「—、—、—」と記入することになった。

4. ②バッテリー式フォークリフト電動機・制御装置等の記入例

リチウムイオンバッテリー搭載仕様

御装置等	4	ヒューズ	✓容量、✓取付	✓自視、✓触診、✓レンチ等	✓		
	5	配線	✓緩み、✓損傷、✓ランプ状態	✓自視、✓触診、✓レンチ等	✓		
	6	充電装置	タイマーの作動、マグネットスイッチの作動、接点の損傷・摩耗 ✓充電用コード・✓コンセント・✓プラグの損傷・荒れ・焼損 ✓充電器の機能(リチウムイオンバッテリー用)	✓自視、✓操作、テスター、 ✓レンチ等	✓		
	7	バッテリー (鉛・リチウムイオン)	液量、電解液比重 (最高 ———— ・最低 ————) 各電槽の電圧 (最高 ———— V ・最低 ———— V) 端子緩み・損傷・腐食、容器損傷・漏れ、リード・コネクタ損傷・接続 バッテリーパックの電圧 (48.0 V)	✓自視、✓触診、比重計、 テスター、レンチ等	✓		

リチウムイオンバッテリー搭載の場合「検査箇所」No.6の「充電装置」は、リチウムイオンバッテリー用充電器となるので「検査内容」は「タイマーの作動、マグネットスイッチの作動、接点の損傷・摩耗」を「—」で消す。

この例の場合は、充電が良好なので残りに「レ」を記入した。

「検査箇所」No.7は「鉛」を「—」で消し、「検査内容」は「液量、電解液比重、各電槽の電圧、端子緩み、腐食、漏れ」も「—」で消し、バッテリー状態が良好なので残りに「レ」を記入、「バッテリーパックの電圧」に数値を記入した。尚、「バッテリーパックの電圧」はBMS(バッテリーマネジメントシステム)のモニター表示にて確認した。

*リチウムイオンバッテリーについては、メーカーにより異なる箇所が多いので注意が必要であり、取扱説明書の確認やメーカー及び代理店への問い合わせが必須となる。

これにて、リニューアルされた手書き用記録表の説明を終わりますが、
現在ご利用を頂いております「特定自主検査記録表作成支援ソフト」につきましては、
新記録表に対応した物のリリースが令和7年4月以降を予定しております。
暫くの間ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。